

機械関係科部会

期 日：平成23年12月6日（火）
会 場：山形県教育センター 304 研修室
参加者：19名（10校）

1 研究主題

- 1) 工業の技術革新に対応し、意見を持って新しい技術・技能の習得に挑戦し続ける実践的技術者を育てるために、その指導内容や指導方法、教師の指導力はどうあればよいか、実践・検証する。
- 2) 山形県の現状と将来を見据え、地域産業・地域社会の特性とニーズに応えるため、各工業高校の特色ある教育課程や指導内容はどうあればよいか、実践・検証する。

2 研究発表

「素材技術コースの実習内容について」

米沢工業高等学校 機械生産類 五十嵐 聡
米沢工業高校では、学科改編により機械系から機械生産類に変わると共に、平成20年度入学生から新たなコースとして、素材技術コースが新設された。多様化する生徒のニーズに応えるべく、新たな実習内容の検討を進め、実践してきた。その具体的指導計画と指導方法、今後の課題について発表した。

3 研究協議および情報交換

1) 機械科関係部会ローテーション

次年度以降の当番校・発表校のローテーションについて確認した。

	H24	H25	H26
当番校	鶴岡工	山形工	酒田光陵
発表校	鶴岡工	山形工	酒田光陵
全体 発表校	鶴岡工	山形工 酒田光陵	神室産業

2) 新教育課程の取り組み状況

平成25年度入学生から適用される新教育課程の編成に当たり、各校の取り組み状況について情報交換した。

3) 3年生の進路状況について

3年生の就職・進学者数と内定状況について情報交換した。

4) 生徒の中長期インターンシップの取り組み・職員研修の取り組みについて情報交換した。

電気関係科部会

期 日：平成23年12月6日（火）
会 場：山形県教育センター 305 研修室
参加者：16名（9校）

1 報告

1) ものづくりコンテスト

- ・ものづくりコンテスト山形大会電気工事部門について新庄神室産業高等学校より。
- ・ものづくりコンテスト山形大会電子回路組み立て部門について米沢工業高等学校より。

2) 電気工事指導者講習会

日本電気協会 東北支部、株式会社ユアテックの御協力を頂き行った講習会の実施結果について報告しました。第一種電気工事士の技能試験公表問題を基に二種には無い回路構成についてや基本的な施工方法などについて指導いただきました。

2 研修協議

1) 研究主題をもとにした各校における取り組み発表を受けて、各校が取り組んでいる資格取得の状況について意見交換を行いました。

その中で各校が全員受験を行っている主な資格としては第二種電気工事士、第二級陸上特殊無線技士、DD3種、ITパスポートなど。

その他、希望者のみ受験するものとして技能検定（2級・3級電子機器組み立て、3級機械保全電気系保全、電気機器組み立てシーケンス制御）、各種危険物、基本情報処理技術者などがあるとのことでした。

また、指導を行う際の問題点として

- ・部活動や生徒会活動など、生徒の特別活動との兼ね合い。指導時間の確保。
- ・カリキュラム上学習していない内容についての指導方法。
- ・高額な受験料や材料費がネックとなり受験できない生徒が出ることもある。
- ・指導者について部活動顧問、分掌業務など業務の多忙化により厳しい状況にある。
- ・指導者側の各種資格についての学習・研究について
など、様々な意見を頂きました。

土木関係部会

期 日 平成23年11月18日(金)

会 場 長井工業高等学校

参加者 15名(7校)

1 研究主題

- (1) 工業の技術革新に対応し、意欲を持って新しい技術・技能の習得に挑戦し続ける実践的技術者を育てるために、その指導内容や指導方法、教職員の指導力はどうか、実践・検証する。
- (2) 山形県の現状と将来を見据え、地域社会・産業の特性とニーズに応えるため、各工業高校の特色ある教育課程や指導内容はどうか、実践・検証する。

研究の観点

- (1) 人間教育としての工業教育の役割と在り方
 - (2) 学習内容と学習形態
 - (3) 教職員の研修
 - (4) 学習の構造と学科編成
 - (5) 教育環境の整備
 - (6) 知識・技能の高度化への対応
 - (7) 社会的・職業的自立に必要な能力の育成
- ### 2 研究発表

- (1) 「平成23年度ものづくりコンテスト東北大会に出場して」

寒河江工業高校 教諭 門脇 拓真
今年度岩手で行われたものづくりの東北大会に参加しての成果を報告された。

3 研究協議

- (1) 「新教育課程に対応した教育課程の編成及び進路状況の報告」

酒田工業高校	教諭	是谷	実
寒河江工業高校	教諭	門脇	拓真
山形工業高校	実習教諭	大野	真也
新庄神室産業高校	実習教諭	工藤	誉利
米沢工業高校	教諭	後藤	武志
鶴岡工業高校	教諭	笹木	博志
長井工業高校	教諭	佐藤	政則

各校より新教育課程における実践課題と具体的な取り組みや新教育課程の編成方針や総合的な学習時間の取り組みなどの特徴ある報告があり活発な意見交換がなされた。

4 現場見学会 長井ダム工事現場

長井ダム工事事務所の方より、本体工事現場の工法、状況を内部見学も含めて詳細に案内・説明していただいた。

建築関係科部会

期 日 平成23年10月26日(水)

会 場 山形県立新庄神室産業高等学校

参加者 高校教育課 高橋良治指導主事

米沢工高 倉田雄一

山形工高 武田晴揮 東海林昌信

鶴岡工高 佐藤有二

山形電波工高 村上良太

新庄神室産業高校 松浦敏行(教頭)

齋藤敬一郎 堀寿光

松田宏美 齋藤芳夫

1 研究主題

- 1) 工業の技術革新に対応し、意欲を持って新しい技術・技能に挑戦し続ける実践的技術者を育てるために、その指導内容や指導方法、教員の指導力はどうか、実践・検証する。
- 2) 山形県の現状と将来を見据え、地域社会・産業の特性とニーズに応えるため、各工業高校の特色ある教育課程や指導内容はどうか、実践・検証する。

2 研究発表並びに質疑応答

- 1) 「ゼロエミッションプロジェクトにおけるエコ車庫の製作」 米沢工高 倉田雄一

- 2) 「生徒の製作・研究への取り組み」

山形工高 武田晴揮

- 3) 「地域に根差したものづくり」

鶴岡工高 佐藤有二

- 4) 「地域社会とのコラボレーション」

～課題研究の取り組みから～

新庄神室産業高校 堀寿光

3 研修(講義・見学)

金山町の「街づくり」そして「金山型住宅」について、研修を実施した。冒頭、鈴木洋金山町長よりご挨拶があり、商工景観交流係長の須賀稔氏より金山町における『景観づくり』についての説明を頂いた。

その後、金山の街並みを見学した。



化学関係部会

期 日 平成 23 年 12 月 6 日 (火)

会 場 山形県教育センター

参加者 伊藤 造 酒田工業高校教諭
横沢 淳 鶴岡工業高校教諭
加藤 智一 山形工業高校教諭
梅津 悌宏 米沢工業高校教諭

1 研究主題

1) 工業の技術革新に対応し、意欲を持って新しい技術・技能の習得に挑戦し続ける実践的技術者を育てるために、その指導内容や指導方法、教員の指導力はどうあればよいか、実践・検証する。

2) 山形県の現状と将来を見据え、地域社会・産業の特性とニーズに応えるため、各工業高校の特色ある教育課程や指導内容はどうあればよいか、実践・検証する。

2 研究の観点 6テーマ設定

- (1) 学習内容と学習形態
- (2) 教員の研修
- (3) 学習の構造と学科編成
- (4) 教育環境の整備
- (5) 知識・技能の高度化への対応
- (6) 社会的・職業的自立に必要な能力の育成

3 研究協議及び情報交換

- 1) 各校現状報告 (学科状況、進路状況)
○酒田工業高校 ○鶴岡工業高校
○山形工業高等 ○米沢工業高校
- 2) 化学関係部会およびものづくりコンテスト事務局ローテーション (次年度以降)

	H24	H25	H26
当番校	山形工	鶴岡工	酒田工
発表校	酒田工	米沢工	繊維系
ものコン	山形工	鶴岡工	酒田工

3) ものづくりコンテスト

- 今年度実施報告及び会計報告
- 次年度実施計画 (県大会、東北大会)

4) その他

- 劇毒物取扱者資格について各校状況

繊維・デザイン関係部会

期 日 平成 23 年 12 月 6 日 (火)

会 場 山形県教育センター

サンドブラスト工房「遙空」

参加者 長澤英一郎 東根工業高校教諭
菅野 清治 米沢工業高校教諭
元木 順一 米沢工業高校教諭

1 研究主題

1) 工業の技術革新に対応し、意欲を持って新しい技術・技能の習得に挑戦し続ける実践的技術者を育てるために、その指導内容や指導方法、教員の指導力はどうあればよいか、実践・検証する。

2) 山形県の現状と将来を見据え、地域社会・産業の特性とニーズに応えるため、各工業高校の特色ある教育課程や指導内容はどうあればよいか、実践・検証する。

2 研究の観点 6テーマ設定

3 研究協議

- 1) 各校現状報告
○米沢工業高校 ○東根工業高校
- 2) デザイン教育の実情と今後について
○カリキュラム、教材、県内状況と今後など
- 3) サンドブラスト工房「遙空」見学
○山形での製品づくり
○デザイン教育に協力できることについて

4 山形県高等学校デザインネットワーク

1) 総会

期 日 平成 23 年 8 月 8 日 (月)

会 場 東北芸術工科大学

2) 講演会及び実技講習会

期 日 平成 23 年 8 月 8 日 (月)

会 場 東北芸術工科大学

講演「人と人をつなぐカタチ」

講習会「EVA シートと試験管を用いたフラ
ワースペースデザイン」

3) 山形県高等学校デザインコンクール

期 日 平成 23 年 10 月 15 日 (土)

会 場 東北芸術工科大学

○グラフィックデザイン「楽しいメモパット」

○プロダクトデザイン「バランスを楽しむ」

○空間デザイン「太陽の光を楽しむ空間」